

第124期
報告書

2021年4月 1 日から
2022年3月31日まで



日本甜菜製糖株式会社

証券コード：2108

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表し、お悔み申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の方々をはじめ、感染症対策にご尽力されている多くの皆様に深く敬意を表します。

当社グループは新型コロナウイルス感染症の拡大防止と事業継続の観点から、従業員の健康管理を徹底した上で、不要不急の出張等を見合わせるとともに、一部事業所において時差出勤と在宅勤務を実施、役職員の出勤を抑え、感染リスクの低減に努めております。

さて、当社は去る3月31日をもって第124期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここにその事業の概況等をご報告申し上げます。

2022年6月

取締役社長 **石栗 秀**

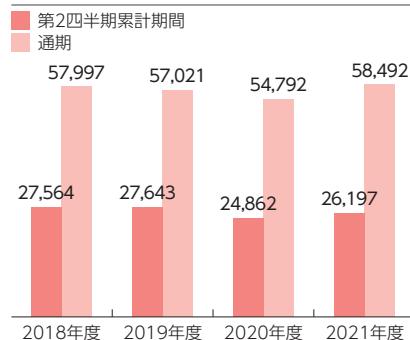


当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ワクチン接種等の効果や海外経済の改善があるものの、ウクライナ情勢等の影響に伴う原材料やエネルギー価格上昇の影響等、先行きが非常に不透明な状況となっております。

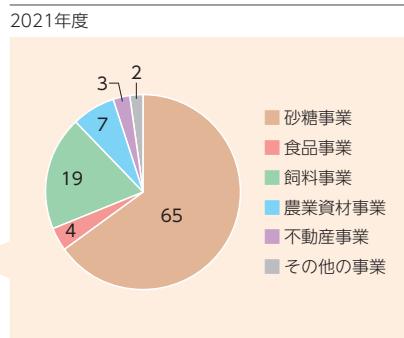
消費者の低甘味嗜好や安価な加糖調製品、異性化糖、高甘味度人工甘味料の増加等からこれまでも減少傾向にあった国内の砂

糖消費量は、コロナ禍の影響によりさらに著しく落ち込み、砂糖業界は大変厳しい状況となっております。2022年3月に農林水産省が公表した「砂糖及び異性化糖の需給見通し」は、2021年10月から2022年9月までの1年間の分蜜糖消費量を172万トンと見込み、コロナ禍で10万トン減少した前年同時期からさらに2万トン減少しております。

売上高 (百万円)



売上高構成比 (%)



経常利益 (百万円)



当連結会計年度は、主に砂糖事業と飼料事業の売上の増加により、売上高は前期比6.8%増の584億9千2百万円となり、経常利益は、前期比20.0%増の28億1千8百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、関係会社株式売却損と減損損失を特別損失で計上したものの、投資有価証券の売却益を特別利益に計上したため、前期比20.3%増の19億7千5百万円となりました。

2021年産の原料てん菜による製糖作業は、10月上旬より開始いたしました。昨年の原料てん菜は、生育前半に少雨が続き干ばつの影響が心配されましたが、その後の降雨で回復し、高品質原料を確保することができました。また、製糖資材使用の抑制を進めるなど、製造コストの低減を図りました。

一方、2022年度に入り、コロナ禍における砂糖消費の低迷に加え、ウクライナ情勢等の影響によるエネルギーコストの高騰により、砂糖を始めとした製品の製造コストが著しく増加することが見込まれるため、当社グループの経営環境は、非常に厳しい状況となっております。

当社グループは、このような著しい外部環境の変化に適應する経営戦略の再構築が急務と捉えており、今まで以上のコスト削減への努力に加え、適正価格での販売を含めた事業基盤の強化に取り組んでまいります。

※決算状況の詳細は2022年5月13日に当社ホームページにて公表いたしました2022年3月期決算補足説明資料をご覧ください。
https://www.nitten.co.jp/financial_results.html

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	前期末 2021年3月末現在	今期末 2022年3月末現在
資産の部		
流動資産	47,714	54,952
固定資産	49,677	45,506
有形固定資産	24,293	23,607
無形固定資産	344	425
投資その他の資産	25,040	21,473
資産合計	97,392	100,458
負債及び純資産の部		
流動負債	18,270	22,626
固定負債	10,660	9,913
負債合計	28,930	32,540
純資産合計	68,462	67,918
負債及び純資産合計	97,392	100,458

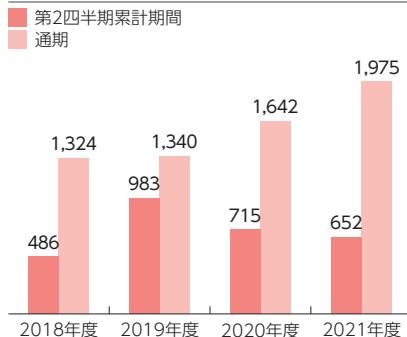
連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

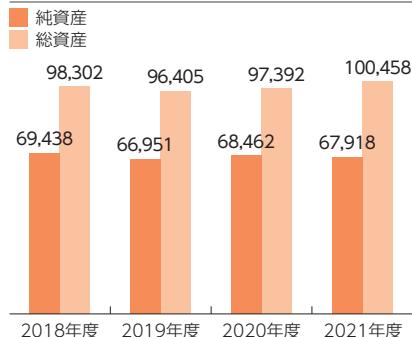
	前期 2020/4/1~2021/3/31	当期 2021/4/1~2022/3/31
売上高	54,792	58,492
売上原価	38,422	43,216
販売費及び一般管理費	14,479	13,046
営業利益	1,889	2,229
営業外収益	674	792
営業外費用	215	203
経常利益	2,349	2,818
特別利益	5	1,499
特別損失	49	1,230
税金等調整前当期純利益	2,305	3,087
法人税等	663	1,112
当期純利益	1,642	1,975
親会社株主に帰属する当期純利益	1,642	1,975

親会社株主に帰属する

当期(四半期)純利益 (百万円)



純資産/総資産 (百万円)



2022年4月4日より

プライム市場に移行しました

東京証券取引所の市場区分再編により、当社株式は2022年4月4日よりプライム市場に移行しました。

今後ともガバナンスの強化を一層取り進めるとともに、企業価値の向上に努めてまいります。

セグメント別の概況

砂糖事業

事業内容 | ビート糖、精糖、
ビート糖蜜、精糖蜜 等



■ ビート含蜜糖



■ 北海道オホーツク
ビートグラニュー糖

ビート糖は、コロナ禍以前の一昨年並みの販売量までは届かず厳しい状況ですが、清涼飲料向けや製パン向け等の業務用販売に回復傾向がみられ、白糖、原料糖の売上高、販売量については前期を上回りました。

また、ここ数年ビート糖の需給バランスが不均衡となっているため、原料糖の在庫が増加しております。

精糖は、コロナ禍の影響により前期に比べ家庭用、業務用とも販売量が減少し、売上高についても前期を下回りました。

砂糖事業の売上高は、378億9千万円(前期比7.0%増)となり、コスト削減に努めたものの、原料糖在庫による保管費増加の影響もあり、3億3千1百万円の営業損失(前期7億1千6百万円の営業損失)となりました。

食品事業

事業内容 | イースト、オリゴ糖等食品素材
(オリゴ糖、ベタイン 等)、
その他食品

イーストは、コロナ禍の影響が見られるものの、売上高はほぼ前期並みとなりました。

オリゴ糖等食品素材は、ラフィノースやフラクトオリゴ糖等オリゴ糖の販売量が増加したものの伸び悩みました。

食品事業の売上高は、23億5千万円(前期比5.6%増)となりましたが、燃料費等の上昇による製造コストの増加により、2千1百万円の営業損失(前期は2千3百万円の営業利益)となりました。

なお、清水バイオ工場の生産設備について、イーストの需要低迷とフラクトオリゴ糖の売上の伸び悩みにより、収益性が低下しました。そのため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、当第4四半期連結会計期間において減損損失4億1千4百万円を特別損失に計上しております。

<製品紹介>

ニッテンイースト

糖蜜を栄養源として、純粋に培養したパン酵母を北海道清水町で製造しています。

製パン・製菓用に、高品質のパン酵母を用意しております。



飼料事業

事業内容 | 配合飼料、
ビートパルプ 等

配合飼料は、穀物価格の高騰に伴う販売単価の増加と、販売努力により販売数量が増加したため、売上高は前期を上回りました。

ビートパルプは、原料でん菜の収量増加に伴う増産により、販売量、売上高ともに前期を上回りました。

飼料事業の売上高は、112億5千3百万円(前期比12.3%増)となり、営業利益は13億2千1百万円(前期比13.6%増)となりました。

<製品紹介>

ヨーデル

国産ビートパルプ等のシンプルな原料に、糖蜜を加え、嗜好性を高めた乳牛用の配合飼料です。

イースト菌が第一胃内の細菌の働きをサポートし、牛本来の能力を存分に発揮できます。



農業資材事業

事業内容 | 紙筒(ペーパーポット[®])、
農業用機械器具、農業資材、種子 等

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、ビート用、そ菜用とも販売量が減少し、売上高は前期を下回りました。

農業機材は、ビート用の移植機、培土等の売上減少により、売上高は前期を下回りました。

農業資材事業の売上高は、42億2千8百万円(前期比6.2%減)となり、営業利益は海外向けの紙筒在庫の評価損を計上した影響もあり、1億9千万円(前期比59.5%減)となりました。

<製品紹介> トラクタ直装ひっぱりくん



チェーンポットで育苗した苗を移植する簡易移植機「ひっぱりくん」をトラクタの後部に接続することで、移植作業が省力化できます。

不動産事業

事業内容 | 不動産賃貸 等

不動産事業は、売上高はほぼ前期並みでしたが、営業利益はコストの削減により増加しました。

不動産事業の売上高は、15億4千9百万円(前期比2.6%増)となり、営業利益は9億6千8百万円(前期比11.8%増)となりました。

その他の事業

事業内容 | 貨物輸送、石油類販売、
書籍販売、スポーツ施設営業 等

その他の事業は、主にスポーツレジャー施設およびガソリンスタンドの来客者数の回復や貨物輸送の増加もあり、売上、利益が増加しました。

その他の事業の売上高は、13億1百万円(前期比9.7%増)となり、営業利益は9千4百万円(前期比19.3%増)となりました。



■ スズラン企業株式会社
＜宮脇書店 帯広店＞
帯広市稲田町南8線西10-1
イトーヨーカドー帯広店2階
文具、雑貨を販売する「Style F(スタイル エフ)」を併設しています。



2022年1月、当社グループが目指す道標として、「日甜アグリーン戦略」*を掲げることといたしました。
将来の当社事業の方向性として、「てん菜糖業」から「てん菜産業」への飛躍を図ることと、農業を基盤とした成長事業の展開を考えております。

「日甜アグリーン戦略」で諸課題にチャレンジし、持続可能な食料システム構築と新たな価値の創造を目指し、多くの方に支持され続ける企業に成長してまいります。

※「アグリーン」とは「アグリカルチャー」と「グリーン」を掛け合わせた造語です。

1. 調達作物・各種作物栽培指針並びに新たな製品開発方針 ※一部抜粋

- 栽培作物中CO₂吸収能力の極めて高い“てん菜”を、引き続き当社事業の核とし、「持続可能なてん菜産業」実現のため、従来からの砂糖製造に加えて、てん菜を原料とした新たな製品・用途開発（健康食材・食品以外の素材開発など）を目指す。
- 原料てん菜および他作物の栽培方法において、減農薬・減肥料・省人省力化（スマート農業）を目指し、生産費を低減する。
- 有機農業を視野に入れた製品群・栽培方法を開発・製造し、内外に普及させる。

2. 生産から流通までの全工程における取組方針

- 原料輸送・貯蔵・製造・製品保管・製品輸送・販売において、効率化を目指し、省エネ・省人省力・省資材化を図り、製造費・販売費を低減する。

3. カーボンニュートラル、環境負荷低減の取組方針 ※一部抜粋

- 各工場・各事業所・不動産事業等で使用する電力・燃料の脱炭素化を目指す。
- 当社製品に使用される化石燃料由来のプラスチック・ビニール等の包装・容器資材類について、削減並びに代替資材類の使用を目指す。



会社概要・株式情報 (2022年3月31日現在)

会社概要

商号	日本甜菜製糖株式会社	
本社所在地	東京都港区三田三丁目12番14号	
設立	1919(大正8)年6月	
資本金	82億7,941万4,800円	
従業員の状況	企業集団の従業員数 当社の従業員数	765名 620名 ※上記には臨時従業員は含まれておりません。
子会社	名称	事業内容
	十勝鉄道株式会社	貨物自動車運送業
	スズラン企業株式会社	石油類・書籍販売およびスポーツ施設営業等
	ニッテン商事株式会社	食品卸売業
	サークル機工株式会社	農業用機械器具の製造販売
	土別スズランファーム株式会社	農産物の生産・販売

大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,293千株	9.59%
明治ホールディングス株式会社	1,133	8.41
ニッテン共栄会	979	7.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	529	3.93
農林中央金庫	514	3.82
東京海上日動火災保険株式会社	428	3.18
株式会社みずほ銀行	365	2.71
NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社	320	2.38
DM三井製糖ホールディングス株式会社	265	1.97
スズラン持株会	253	1.88

(注) 1. 当社は、自己株式1,842,873株を所有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式数を控除して算出してしております。

株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	15,325,642株
株主数	13,088名

役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役会長		惠本 司
代表取締役社長	社長執行役員	石栗 秀
取締役	専務執行役員	八巻 唯史
取締役	常務執行役員	木山 邦樹
取締役	常務執行役員	寺澤 秀和
取締役	※	浅羽 茂
取締役	※	橋本 秀一
取締役	※	中村 規代実
常勤監査役		藤崎 裕之
常勤監査役		森山 英二
監査役	※	増本 善丈
監査役	※	鏡 高志
	上席執行役員	前田 孝幸
	上席執行役員	小島 洋司
	上席執行役員	田村 雅彦
	執行役員	菊池 文夫
	執行役員	林 政宏
	執行役員	黒氏 信好
	執行役員	寺山 佳之
	執行役員	白畑 康

※社外取締役・社外監査役



芽室製糖所(北海道芽室町)

株主各位

証券コード2108
2022年6月28日

東京都港区三田三丁目12番14号

日本甜菜製糖株式会社

取締役社長 石栗 秀

第124期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第124期定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

- 報告事項
- 第124期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第124期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は1株につき50円(普通配当50円)と決定いたしました。
- 第2号議案 定款一部変更の件
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案 取締役8名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、恵本 司、石栗 秀、八巻唯史、木山邦樹、寺澤秀和、浅羽 茂、橋本秀一、中村規代美の各氏が取締役に選任され、それぞれ就任いたしました。
なお、浅羽 茂、橋本秀一、中村規代美の各氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
- 第4号議案 補欠監査役1名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、大井倫太郎氏が補欠監査役に選任されました。

以 上

おって、本定時株主総会終了後に開催の取締役会の決議により、代表取締役として、恵本 司、石栗 秀の2氏が選定され就任し、取締役会長に恵本 司氏、取締役社長に石栗 秀氏が選定され、それぞれ就任いたしました。

再 拝

期末配当金のお支払いについて

- 口座振込をご指定でない方には、「第124期 配当金領収証」および「第124期 配当金計算書」をご送付申し上げます。
期末配当金は、同封の「第124期 配当金領収証」により、払渡期間(2022年6月29日から2022年7月29日まで)内にお近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。
- 口座振込をご指定の方には、「第124期 配当金計算書」および「配当金振込ご確認のご案内」を同封しておりますので、ご確認ください。
なお、株式数比例配分方式を選択された方は、配当金のお振込先や確定申告を行う際の添付資料等につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

以 上

単元未満株式の買増 及び買取制度のご案内

当社の株式は単元株式数(売買単位)を100株としておりますので、100株に満たない株式(単元未満株式)は市場では売買することはできません。

単元未満株式は買増請求または買取請求することができますので、ぜひご利用ください。

(例)



- ・買増請求または買取請求をする際には、下記<株式に関するお問い合わせ先>にお問い合わせの上、お手続きください。

<株式に関するお問い合わせ先>

当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合

- ➔お取引引きの証券会社等にお問い合わせください。

当社株式を証券会社等の口座にお預けでない場合
(特別口座に記録された場合)

- ➔三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 [通話料無料]

※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

※配当金の受取方法については「ゆうちょ領収証払い」以外に銀行または証券会社の口座で受け取る「口座受取り」もご利用できます。

配当金のお振込みに関するご相談は<株式に関するお問い合わせ先>にお問い合わせください。

日本甜菜製糖株式会社

ホームページ <https://www.nitten.co.jp>

UD
FONT

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080

VEGETABLE
OIL INK